

|                    |  |  |    |     |   |      |    |
|--------------------|--|--|----|-----|---|------|----|
| 科目名<br>Course Name | カラーコーディネート<br>Co]or Coordination   |  |    |     |   |      |    |
| 年次                 | 2年   | 期別   | 前期 | 単位数 | 2 | 授業形態 | 講義 |
| 担当者氏名              | 阿部芳子   |  |    |     |   |      |    |
| 連絡先(質問等)           | 福祉棟 3F 研究室かメール対応。  |  |    |     |   |      |    |
| 必修/選択              | 選択   |  |    |     |   |      |    |
| 関連 DP              | DP1,DP2,DP3  |  |    |     |   |      |    |
| 授業の概要と到達目標         | 色彩の基本的な理論を学び、ビジネス社会や生活で役立つ配色を考え、活かせるようにする。<br>① 色彩の基礎、配色調和、色とイメージ、②商品の色、暮らしに役立つ配色<br>③美容・ファッション・食事 ④コミュニケーションを作る色、日本の色 ⑤色彩心理<br>色彩について、知識とセンスを身につけ感性を高めることの重要性が説明できるようにする。 |  |    |     |   |      |    |
| 授業の方法              | テキストとカラーサンプルで基本を理解し、資料と色彩運用技術で色彩実務スキルアップ、さらに提案や調査による提出物で、色彩の理解と着実な色彩運用能力を高める。テーマごとにカラー提案や調査など、レポート提出をする。   |  |    |     |   |      |    |
| 学習成果               | L01  |  |    |     |   |      |    |
|                    | L02  | 色彩の基本的知識、技術を身につけ、アシスタント的な業務につき、ある程度の自己判断をしながら、業務を遂行することができる。<br>商品企画・デザインに関する業務であれば、商品色の原案を目的に沿って提示できる程度の色彩技術(スキル)を持つことができる。 |    |     |   |      |    |
|                    | L03  | 販売関連業務であれば店頭で、色彩的視点から商品陳列、展示できる技能・技術を持ち、接客では個々のお客様に対し初歩的なカラーコーディネートアドバイスをすることができる。   |    |     |   |      |    |
|                    | L04  |  |    |     |   |      |    |
| 課題に対するフィードバック      | 課題提出後の講評。小テストは模範解答を示し、各自にフィードバックする。  |  |    |     |   |      |    |
| 教科書/参考図書           | 教科書：色彩検定 2 級編 公式テキスト、(文部科学省後援)トータルカラー65 色<br>参考書：色の辞典(西東社)、色の教科書(Gakken)   |  |    |     |   |      |    |
| 履修上の留意点やルール等       | ●日頃、色に関心を持ち、積極的に授業参加することを望む ●スケッチブック A4、色鉛筆準備<br>事後学習の時間は各回 180 分。   |  |    |     |   |      |    |
| 担当教員の実務経験          |  |  |    |     |   |      |    |

| 成績評価の方法と基準 |  |         |     |     |     |
|------------|--|---------|-----|-----|-----|
| 評価の領域      | 評価基準   | 学習成果の割合 |     |     |     |
|            |  | L01     | L02 | L03 | L04 |
| 授業参加態度     |  |         |     |     |     |
| レポート/作品    | 与えられた課題を自ら考え、表現され、期限内に提出されている。                                 |         |     | 30  |     |
| 発表         |  |         |     |     |     |
| 小テスト       | 限られた内容が十分に理解されているか、評価する。                                       |         | 20  |     |     |
| 試験         | 色の見え方、色の働き、色彩調和、色彩心理、色彩と生活、効果など<br>基本的なことが理解されているか。S 評価 90—100 |         |     | 50  |     |
| その他        |  |         |     |     |     |
| 合 計        |  |         | 20  | 80  |     |

| 回数 |         | 授業計画  |
|----|---------|---|
| 1  | 授業内容    | ガイダンス 色の働き ① 生活の中の色彩 ②ファッションと色彩               |
|    | 事前・事後学習 | 生活の中の色について、サインとしての色や自然の季節の色に気づくこと。            |
| 2  | 授業内容    | 色の基礎知識 :分類 色相 色相環 色の表し方 色の表示方法                |
|    | 事前・事後学習 | 色の見え方、色に影響を与えるもの、色を感じるメカニズム。                  |
| 3  | 授業内容    | 色の明るさ 強さ トーンの種類                               |
|    | 事前・事後学習 | 明度と彩度が同じような色は同じような印象を与える。                     |
| 4  | 授業内容    | 色の見え方、 感じ方                                    |
|    | 事前・事後学習 | 色の心理効果、 色の視覚効果、見えやすさ、錯覚。                      |
| 5  | 授業内容    | 単色イメージ、配色イメージ、 配色と色彩調和                        |
|    | 事前・事後学習 | 色から受けるイメージ                                    |
| 6  | 授業内容    | 自然な調和、流行色、まとまりのある配色、メリハリのある配色                 |
|    | 事前・事後学習 | イメージを表現する配色。                                  |
| 7  | 授業内容    | 配色技法: ファッションと色彩① イメージを表現する配色                  |
|    | 事前・事後学習 | 企画段階の色彩、生産段階の色彩、流通・販売段階の色彩。                   |
| 8  | 授業内容    | 配色技法: ファッションと色彩② ファッション産業における色彩を取り扱う姿勢        |
|    | 事前・事後学習 | 商品陳列と色彩、照明と色、コーディネートと色彩。                      |
| 9  | 授業内容    | 日本の色＝歴史に残る伝統色① かさね色目、陰陽五行と冠位十二階               |
|    | 事前・事後学習 | きもの着装の色重ねや和食の配色などで確認する。                       |
| 10 | 授業内容    | 日本の色＝歴史に残る伝統色② ジャパンブルー、雅・粋・詫・寂・バサラ [レポート]     |
|    | 事前・事後学習 | 日本人の感性と色は、豊かな自然から、歴史に残るこだわりの色となっている。          |
| 11 | 授業内容    | パーソナルコーディネートと色彩① 色・素材の質・形との関係                 |
|    | 事前・事後学習 | 似合う色、好きな色、好印象や気分が良くなることなど。                    |
| 12 | 授業内容    | パーソナルコーディネートと色彩② 色が人に与える影響、カラーセラピー [ドレーピング体験] |
|    | 事前・事後学習 | 似合う色、好きな色は、性格の心理状態を表すことも！                     |
| 13 | 授業内容    | 商品企画における色彩計画 カラーコンセプト、配色と色の見え方                |
|    | 事前・事後学習 | スタイリッシュさ、カジュアルさ、新鮮さ、アピールしたい色 他。               |
| 14 | 授業内容    | 生活環境と色彩 インテリア・エクステリア・プロダクツ・メディア               |
|    | 事前・事後学習 | 興味を引きつけ、楽しさを感じさせる色使い。                         |
| 15 | 授業内容    | 販売における色彩計画、VMD と色彩、ディスプレイやファッションへの応用 [レポート]   |
|    | 事前・事後学習 | 関心のあるテーマについて調査・考察し、レポート提出する。                  |